

臨濟宗大本山妙心寺大雄院

春の特別拝観

拝観料 / 六百元

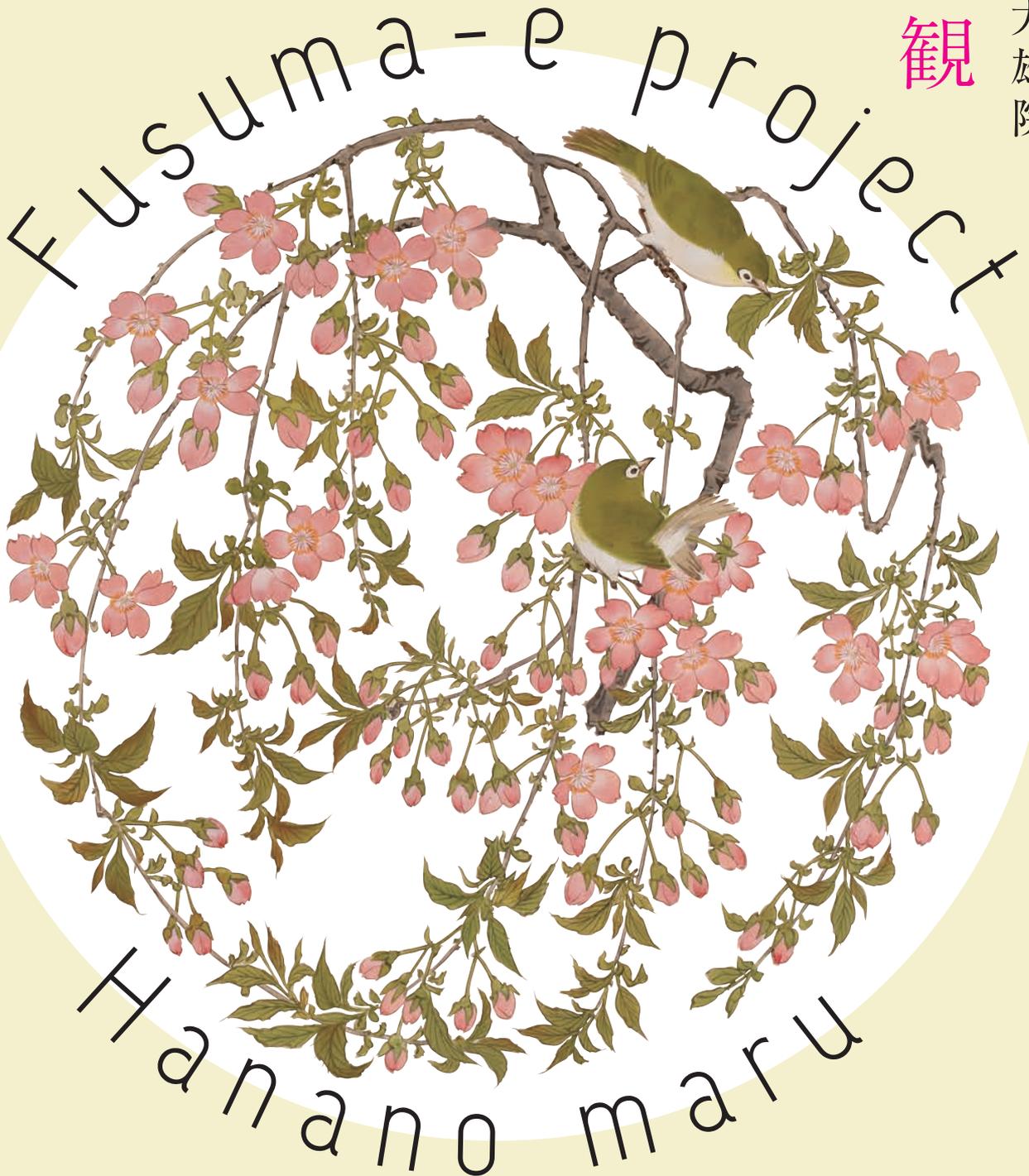
2018  
4 / 22 sun

5 / 13 sun

10:00~16:00

4.30と5.5のみ13:00~16:00

大雄院  
襖絵  
プロジェクト



宮絵師 安川如風 / 糸桜にメジロ

臨済禅最大派である大本山妙心寺山内に大雄院がございます。禅のこころとは「かたよらない」「とらわれない」こころ。「ありのまま」を見て、聞いて、感じるままに一体となり何者にもなれる。簡単なようで難しく、難しいようで、とてもシンプルなことです。大雄院庭園は緑が眩しい苔むす枯山水で季節や天気、一日の中でも時刻によって、見るたびに違う印象を受ける庭園です。諸行無常、刻は止まらず、庭も自分自身も、同じ日、時はない。全てはうつろいかわって行くのだから、どんなに素晴らしい景色も、苦しい出来事も、とらわれる必要はないのです。

そのような世界で残るものもでございます。江戸期の天才美術家柴田是真による当院の本堂障壁画七十二面は、江戸で大きな才能を花開かせる未来の少し前、若い日の是真の筆を写し留めています。華やかで粹な是真の作風とは一見異なる印象の、やさしい淡彩画でありながら、是真の表現者としての才能の一端をひしひしと感じる大作です。大雄院では、是真が明治宮殿に残した素晴らしい花の丸図(戦火にて消失)を復活させるべく、「大雄院 襖絵



プロジェクト」を発足し、全十八面のうち八面をこの度皆さまにご覧いただくこととなりました。筆をとるのは、日本で唯一の宮絵師、安川如風です。

禅寺にて心を調え、自分自身と向き合ってみる。緑の風を感じ鳥の声を聞く。ありのままを感じていただく襖の中の草花や動植物はさらにとっても美しく、生き生きとしています。大雄院にてお過ごしいただく春の日が、お参りの皆さまにとって人生の喜びの一つとなりますよう。



《春襖絵》糸桜と菜の花に蝶々



《夏襖絵》蓮子と牡丹に貝



《秋襖絵》葛花と桔梗に稲雀



《冬襖絵》山茶花と水仙



宮絵師、安川如風 制作風景

## 大雄院襖絵プロジェクト 第二次募集 ご協力のお願い

大雄院襖絵制作プロジェクトの完成に向け、まず8面をご覧頂くこの機に、第2次ご寄付募集を開始させていただきます。何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

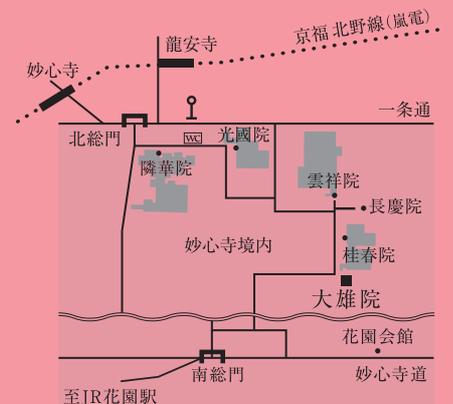
[ 制作内容 ] 柴田是真の残した花の丸図を元に安川如風が描く大雄院の襖18面

[ 完成予定 ] 2020年4月予定

[ 寄付受付 ] 1口/1,000円より  
寄付をお受けした方のお名前はお寺に残させていただきます、完成披露内覧会へのご招待をさせていただきます。

[ ご寄付の仕方 ]  
大雄院備え付けの申込用紙にて直接お申し込む。  
大雄院ホームページより申し込む。  
ご不明な点は、大雄院へお問い合わせ下さい。

※ご寄付の心ばかりの返礼として記念御朱印(書き置き)の授与がございます



## 妙心寺 大雄院

〒616-8035  
京都市右京区花園妙心寺町52  
075-463-6538

<https://www.daiouin.com>

アクセス  
電車/JR「花園駅」より徒歩10分  
嵐電「妙心寺駅」より徒歩8分  
バス/市バス26系統「妙心寺北門前」より徒歩5分

大雄院 住職 石河法寛  
大雄院襖絵制作実行委員会 一同

